

## 事業報告書（概要）

### 1. 法人の概要

#### (1) 建学の精神

西鉄学園は日本の経済成長が始まった昭和37年に、来るべき自動車社会を支えていく人材を育成することを目的に学校法人西鉄自動車学校を設立し、運転の教習を行う教習部門と自動車の構造・整備を教育する整備部門の2部門を備えた学校として誕生しました。その後経済の成熟化に伴う人々の生活水準の向上による、旅行や観光に関わるサービスの高度化が求められる時代の到来に対応し、当学園は平成4年に法人名を学校法人西鉄学園に改め、時代の要請に応える新たな学校として平成6年に国際ビジネスカレッジを開校し3校を擁する現在の姿になりました。

自動車学校は運転免許取得のための教習のほか地域の交通安全に寄与する活動を行い、2校の専門学校は、2級自動車整備士養成ならびに観光業界等に寄与する専門士（商業実務専門課程）養成を行っております。

#### (2) 学校法人の沿革

昭和37年 2月	学校法人西鉄自動車学校設置認可
昭和37年 4月	西鉄自動車学校および自動車整備科（3級整備士養成指定校）開校
昭和37年 11月	指定自動車教習所として指定（大型自動車）を受ける 以降 指定教習車種を追加
昭和39年 3月	第一種自動車整備士養成施設指定校として認可を受ける
昭和52年 5月	自動車整備士養成施設（第一種）の変更 3級自動車整備士養成課程を2級自動車整備士養成課程へ
昭和52年 12月	私立専修学校西鉄自動車整備専門学校設置認可
昭和53年 4月	西鉄自動車整備専門学校 開校
平成 4年 11月	学校法人の名称を西鉄学園に変更
平成 6年 3月	私立専修学校専門学校国際ビジネスカレッジ設置認可
平成 6年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジ開校
平成12年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジを専門学校西鉄国際ビジネスカレッジに 名称変更

## (3) 設置する学校・学科（令和4年5月1日現在）

学校名	開校年月	学科名	
西鉄自動車学校	昭和37年4月	—	
西鉄自動車整備専門学校	昭和37年4月	工業専門課程 職業実践専門課程 (留学生自動車整備士 コース除く)	自動車整備科 留学生自動車整備士コース
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ	平成 6年4月	商業実務専門課程 職業実践専門課程 (国際ビジネス科・国 際ホテルマネジメント 科・観光ビジネス 進学科・夜間総合観 光科除く)	ホテル・ブライダル科 観光科 鉄道科 エアライン科 国際ビジネス科 国際ホテルマネジメント科 観光ビジネス進学科 夜間総合観光科

## (4) 学校・学科の学生数（令和4年5月1日現在）

(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	現員数
西鉄自動車学校	—	—	501
西鉄自動車整備専門学校	自動車整備科	35	66
	留学生自動車整備士コース	35	98
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	ホテル・ブライダル科	50	68
	観光科	0	0
	鉄道科	40	71
	エアライン科	60	82
	国際ビジネス科	30	16
	国際ホテルマネジメント科	25	65
	観光ビジネス進学科	15	0
	夜間総合観光科	20	17
合 計		310	984

(注)1 現員数は1～3学年の合計

(注)2 海外実習生は含まない

(注)3 観光科は2020年に募集停止

(注)4 観光ビジネス進学科は2022年に募集停止

## (5) 役員概要 (令和5年5月1日現在)

区分	氏名	摘要
理事長	部谷 由二	令和4年4月理事長就任
常務理事	相田 安浩	令和3年4月常務理事就任 (西鉄自動車学校校長)
理事	椎葉小夜子	平成24年6月理事就任 (専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ校長) (西鉄自動車整備専門学校校長)
理事	野口 英明	令和4年4月理事就任
理事	小宮 章敬	令和3年4月理事就任
理事	久保田 等	令和4年4月理事就任
理事	中原 重典	令和4年4月理事就任
監事	馬場 宏明	令和3年4月監事就任
監事	奥村 洋介	令和4年4月監事就任

(注)役員の数員数は理事6名以上8名以内、監事2名

## (6) 教職員概要 (令和4年5月1日現在)

(単位：人)

区分		法人本部	西鉄 自動車学校	西鉄 自動車整備 専門学校	専門学校 西鉄国際 ビジネスカレッジ	計
教 員	本務		32	9	16	57
	兼務		5	3	32	40
職 員	本務	4	10	2	9	25
	兼務	2	6	1		9
計		6	53	15	57	131

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の概要

当学園を取り巻く環境の中で3校ともに業績に大きく影響する要素としては「18歳人口の減少」が挙げられます。文部科学省によれば、平成21年から令和2年頃までほぼ横ばいで推移し、その後再び減少に転じると予測されており、事業環境は今後ますます厳しくなっていくものと考えられます。

さらに、新型コロナウイルス禍を経たその後の行動様式の変化や進学に対する考え方の変化などを的確に捉え、これに対応した学校経営および事業運営を行っていくことが重要な課題となっております。

### (2) 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

#### <西鉄自動車学校>

西鉄自動車学校においては、18歳人口の減少や若者の車離れなど、収益の主力である普通一種免許の需要が減少傾向になると予想されますが、大型一種をはじめとする他の車種の需要を確実に取込みます。

一方で、高齢者への「高齢者講習」や、一般企業の安全意識への高まりに対して「安全運転研修」に積極的に継続して取り組むことで、安定的な収益の確保に努めてまいります。

#### <西鉄自動車整備専門学校>

西鉄自動車整備専門学校においては、自動車業界との連携を深化させ、最新技術に対応できる整備士の育成に共同で取り組み、教育の質向上に努めています。併せて、留学生の国内での就職を実現させるための日本語能力の向上や全員の国家資格取得並びに就職率100%を目標に取り組んだ結果、目標を達成することができました。今後も教育力を高めて業界に貢献できる人材の輩出に尽力し、第一に選ばれる学校づくりを推進してまいります。

#### <専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

西鉄国際ビジネスカレッジにおいては、時代の変化に応じた学科編成を主眼に学科の改廃を進めています。これまで培った教育力を観光分野以外にも広げ、社会のニーズに対応して学校の基盤を強化してまいります。

また、高校との連携深化のために高校教育現場にも参入し、連携の強化が図られています。今後も教育力をさらに高め、社会から求められる人材の育成に尽力してまいります。

## 資金収支計算書（要約）

令和 4年 4月 1日 から

令和 5年 3月31日 まで

（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	926,423
手数料収入等	62,893
付随事業・収益事業収入	69,029
受取利息・配当金収入	164
雑収入	7,802
前受金等収入	236,522
その他の収入	472,009
資金収入調整勘定	△264,683
前年度繰越支払資金	1,275,441
収入の部合計	2,785,604

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	482,958
経費支出	512,399
施設関係支出	29,618
設備関係支出	33,951
その他の支出	550,172
資金支出調整勘定	△114,037
翌年度繰越支払資金	1,290,541
支出の部合計	2,785,604

## 事業活動収支計算書（要約）

令和 4年 4月 1日 から

令和 5年 3月31日 まで

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		学生生徒等納付金	926,423
		手数料等	55,019
		付随事業収入	69,029
		雑収入	7,802
		教育活動収入計	1,058,274
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		人件費	490,680
		経費	569,121
		徴収不能額等	714
		教育活動支出計	1,060,517
教育活動収支差額		△2,242	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		教育活動外収入計	164
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		教育活動外支出計	—
教育活動外収支差額		164	
経常収支差額		△2,077	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		特別収入計	10,323
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		特別支出計	958
特別収支差額		9,365	
基本金組入前当年度収支差額		7,287	
基本金組入額合計		△24,560	
当年度収支差額		△17,272	
前年度繰越収支差額		△417,234	
基本金取崩額		77	
翌年度繰越収支差額		△434,429	

## 貸借対照表(要約)

令和 5年 3月31日

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	1,379,162
有形固定資産	1,367,571
土地	936,954
建物	326,216
その他	104,400
その他の固定資産	11,591
流動資産	1,329,391
現金預金	1,290,541
未収入金	19,161
その他	19,688
資産の部合計	2,708,554

負債の部	
科 目	金 額
固定負債	117,544
退職給与引当金	117,544
流動負債	393,691
未払金	105,576
前受金	236,522
その他	51,592
負債の部合計	511,235
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	2,631,747
繰越収支差額	△434,429
純資産の部合計	2,197,318
負債及び純資産の部合計	2,708,554

## 財産目録

令和 5年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
資産額	
基本財産	1,367,571
土地	936,954
建物	326,216
その他	104,400
運用財産	1,340,983
現金預金	1,290,541
未収入金	19,161
その他	31,280
資産額合計	2,708,554
負債額	
固定負債	117,544
退職給与引当金	117,544
流動負債	393,691
未払金	105,576
前受金	236,522
その他	51,592
負債額合計	511,235
正味財産	2,197,318



令和5年5月26日

## 監査報告書

学校法人西鉄学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 馬場 宏明



監事 奥村 洋介



私たちは、私立学校法第37条第3項および学校法人西鉄学園寄附行為第13条の規定に基づき、学校法人西鉄学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務ならびに財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査方法の概要

理事会に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、本部および各学校において必要と思われる調査を実施しました。

また、計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書）および事業報告書に関する説明を受け、かつ必要と認められる方法を実施して、その正確性を検討しました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類等および事業報告書の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況および財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はありません。

以上